

グループホームこまぼ 木もれ陽

四季折々の季節を感じる暮らしを



ピアノ演奏会



ひよんなきっかけから『第1回ハレトケピアノ演奏会』にご利用者のKさんが参加する機会を得ました。場所は国立オリンピック記念青少年総合センター小ホール。「年齢・障害の有無・プロアマ問わず、ピアノ好きの出演者をお待ちしています」の言葉に惹かれました。普段、Kさんはほぼ毎日、ホームでピアノを弾いてくれています。音大でピアノと声楽を学び、その後長い間、ピアノ教室の先生をしていらっしゃいました。ステージに上がるのは何十年ぶりになるのでしょうか。ライトを浴びてショパンの『夜想曲（ノクターン）』を披露。間違えてしまう場面もありましたが、戸惑いつつも輝く時間を満喫できたのではないかと思います。

発表会終了後に何人もの方々から「音色が優しくて心に染みました」「感動しました」「素晴らしかったです」とたくさんの言葉を掛けて頂きました。認知症であっても、ちょっとした手助けがあれば、存分に自分の力を発揮し楽しむことが出来る…あらためて実感した素敵な一日となりました。（勢村）



川添ホーム長の マイファミリー

窓から外を眺めると、日差しが明るくてとても暖かそうに感じますが、外へ出ると風の冷たさに慌てて部屋へ飛び込むということが多くあります。

立春を過ぎ、暦は春ですが、暖くなるのはまだもう少し先のことです。

1月はいぬ。2月はにげる。3月はさる。瞬く間に日が過ぎて行くことを昔の人は上手に言ったものだとご利用者と話しをしているこの頃です。

1月、ホームでは皆でおせちを作り、ご利用者の故郷の味のリクエストで白味噌雑煮を丸餅でいただき、全員揃って笑顔でお正月を迎えられました。

2月の節分豆まきでは、迫力たっぷりの本格的な鬼に扮した職員の名演技に、ご利用者は爆笑しながら鬼退治をして

盛り上がりました。

3月も楽しい時間、うれしい、よかった、と思える瞬間がたくさんあるようにしたいです。

日々の慌ただしさにうっかりと日を送ることが多くなっていくようですが、四季折々、季節の節目を楽しみながら過ごしていけることのありがたさを大切にしたいと思います。



編集後記

早いもので今年度も終わろうとしています。当たり前のことですが、人は誰しもひとりひとり違います。悩みながら、認めながら、驕ることなく、一つ一つの事を糸を紡ぐようにていねいに積み重ねていく。ホームで過ごす日々が、ご利用者にとってもご家族にとってもかけがえのない時間であり、場所となるよう、これからも心を一つに努めていきたいと思っています。（勢村）



こまぼのフォトアルバム

ご家族との
くつろぎのひと時

かわいいぬいぐるみと…
優しいまなざしです

訪問介護美容でアロママッサージ
気持ち良い〜!



駒場野公園で色づくイチョウ
の中を散策



移動動物園が来てくれました
かわいいねえ♡



生け花を楽しんでいます
どんなふうになるかな?



お正月のお飾りを買いに…
「どれにしようかな…」



お正月の玄関の飾り付け
今年はうま年です



梅の名所 羽根木公園に
出かけました
梅をバックに素敵な笑顔



手作りのおせち料理でお正月
を迎えました。
とっても美味しか
ったです!!



大きな赤鬼と青鬼が登場!!
豆をまいて鬼をやっつけました!

「鬼は外! 福は内!」

